

令和3年4月6日
愛媛大学

令和3年度文部科学大臣表彰の受賞者に 新名 亨ラボマネージャーが決定

このたび、令和3年度文部科学大臣表彰（科学技術分野）における「研究支援賞」の受賞者に、本学先端研究・学術推進機構教育研究高度化支援室の新名 亨（しんめい とおる）ラボマネージャーが決定しました。

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学先端研究・学術推進機構教育研究高度化支援室

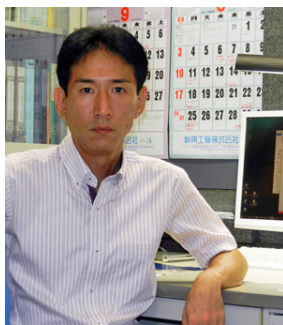
新名 亨（ラボマネージャー）

電話：089-927-8158、メール：shinmei@sci.ehime-u.ac.jp

愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター

入船 徹男（教授・センター長）

電話：089-927-9645、メール：irifune@dpc.ehime-u.ac.jp



新名 亨 (しんめい とおる)

広島県生まれ 51 歳

愛媛大学理学部卒・同修士課程、北海道大学博士課程修了

岡山大学研究員、ミネソタ大学研究員、イェール大学研究員、愛媛大学研究員、東京大学研究員、愛媛大学グローバル COE 准教授等を経て、愛媛大学教育研究高度化支援室講師・ラボマネージャー（GRC 担当）

【受賞概要】

文部科学省では、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者を「科学技術分野の文部科学大臣表彰」として顕彰しています。愛媛大学先端研究・学術推進機構教育研究高度化支援室の新名亨ラボマネージャーが、4月6日付で、このうちの「研究支援賞」の受賞者の一人に決定しました。

研究支援賞は、同表彰の4つの賞（他に科学技術賞、若手科学者賞、創意工夫功労者賞）の一つで、「高度で専門的な技術的貢献を通じて研究開発の推進に寄与する活動を行い、顕著な功績があった者」が表彰の対象となっています。新名ラボマネージャーの受賞理由は「大型超高压装置による新物質の開発における貢献」で、愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター（GRC）に設置されている6台の大型超高压装置の運用、とりわけGRCに平成21年に設置された世界最大の超高压装置「BOTCHAN-6000」を用いた超高压合成技術の開発と、それを用いた新物質・材料の合成における貢献が大きく評価されたものです。



BOTCHAN-6000



ナノ多結晶ダイヤモンド「ヒメダイヤ」

GRCでは、世界最硬物質であるナノ多結晶ダイヤモンド（「ヒメダイヤ」）の合成を2003年に発表しましたが、新名ラボマネージャーによるBOTCHAN-6000を用いた安定的合成技術の確立により、大型で高品質なヒメダイヤの合成と供給が可能となりました。得られたヒメダイヤを用いた共同研究は、GRCが運用する全国の共同利用・共同研究拠点「先進超高压科学研究拠点」（PRIUS）における活動の重要な柱となっています。この結果、これまでに国内外の約50の研究グループにヒメダイヤが提供され、これを用いた新しい超高压実験装置や技術などの開発がすすめられるとともに、地球科学・物理・化学・材料科学などの様々な分野においてGRCとの共同研究が進められています。

なお、本賞の表彰式は令和3年4月14日に文部科学省において、またYouTubeによる同時ライブ配信により行われる予定です。